

アイヌの人たちの歴史・文化等に関する啓発資料

ピラサ

発行日 令和3年3月11日 第30号
発行 北海道教育庁学校教育局義務教育課
文責 北海道アイヌ教育相談員

「ピラサ」とは、アイヌ語で
「広げる」を意味する言葉です。

令和2年7月、アイヌ文化の復興・発展の拠点として、胆振管内白老町にウポポイ（民族共生象徴空間）がオープンしました。

これまでに多くの学校が修学旅行等でウポポイを訪れ、施設見学や「アイヌ古式舞踊」の鑑賞、伝統料理の試食など、多様な体験活動を通して、アイヌの人たちの歴史や文化等について理解を深めています。道内の小・中学校における施設見学や体験活動の様子を紹介します。

国立アイヌ民族博物館

「国立アイヌ民族博物館」には、「ことば」「世界」「暮らし」「歴史」「しごと」「交流」の6つのテーマで構成された展示コーナーがあり、見学等を通して、アイヌの人たちの歴史や文化等についての学びを深めることができます。



「世界」のテーマの展示では、グラフィック等により、ありとあらゆるものに宿るラマツ（靈魂）の世界観が広がるアイヌの人たちの精神世界について、学ぶことができます。



「暮らし」のテーマの展示では、装い・食・住まいをはじめ音楽や舞踊、子どもたちの遊びにも触れながら、昔のアイヌの人たちの暮らしについて、学ぶことができます。



「歴史」のテーマの展示では、上部壁面に、事柄とそれに呼応する年代や地図が連動する年表が表示され、アイヌの人たちにかかわる様々な出来事について、学ぶことができます。



「しごと」のテーマの展示では、狩猟や漁労、農耕、採集で使用される道具やその仕組みが紹介され、アイヌの人たちが携わってきたしごとについて、学ぶことができます。

国立民族共生公園

「国立民族共生公園」には、①伝統的コタン及びチセの見学、②「アイヌ古式舞踊」などの伝統芸能の鑑賞、③伝統料理の試食体験、④伝統楽器「ムックリ（口琴）」演奏体験等ができる施設があり、体験を通して、アイヌの人たちの歴史や文化等についての理解を深めることができます。



①伝統的コタン及びチセの見学

チセ（家屋）群が再現され、アイヌの伝統的な生活空間を体感することができます。



②伝統芸能の鑑賞

ユネスコ無形文化遺産に登録されている「アイヌ古式舞踊」やムックリの演奏などの伝統芸能を鑑賞することができます。



③伝統料理の試食体験

アイヌの人たちの伝統料理の試食などを体験することができます。



④ムックリ（口琴）の演奏体験

伝統楽器「ムックリ（口琴）」の演奏などを体験することができます。

【子どもたちの感想】

- ・社会科の時間で、アイヌの人たちの歴史・文化等について学びましたが、実際に「ウポポイ」に行ってみると、知らなかったことがたくさんありました。
- ・見学の前に、インターネットや本で調べたことをもとに、実際の展示を見て、触れて学んだことで、アイヌの人たちの歴史や文化等のことが、よく分かるようになりました。

○ 道教委 Web サイトに、各学校の「ウポポイ」を活用した取組事例「ウポポイ活用事例集」を掲載しているので、アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習の際に活用してください。



○ 「ウポポイ」の公式 Web サイトに、施設情報や「トゥレップンとゆく！バーチャルウポポイ 360」等が掲載されているので、見学前の学習の際に活用してください。



「ウポポイ」の活用に関するお問い合わせは、公益財団法人アイヌ民族文化財団（白老）0144-82-3914 に連絡してポン。

「ウポポイPRキャラクター トゥレップン」